

株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数 320,000,000 株
 発行済株式の総数 50,000,000 株
 株主数 10,701 名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6,603	13.64
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2,300	4.75
株式会社第四北越銀行	2,184	4.51
第一生命保険株式会社	2,100	4.33
THE BANK OF NEW YORK 133652	1,688	3.48
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	1,656	3.42
株式会社三井住友銀行	1,516	3.13
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,327	2.74
ツガミ取引先持株会	1,100	2.27
PICTET AND CIE (EUROPE) SA, LUXEMBOURG REF: UCITS	767	1.58

(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しており、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 2. 当社は、自己株式を1,603千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

会社の概要 (2022年3月31日現在)

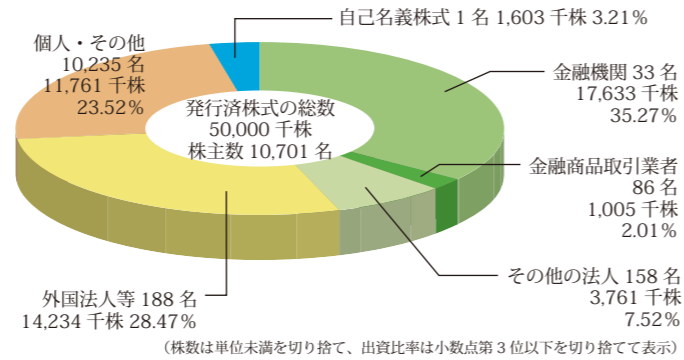
商号 株式会社ツガミ
 設立 1937年3月
 本店所在地 東京都中央区日本橋富沢町12番20号
 資本金 12,345百万円
 従業員数 3,078名(連結)
 役員状況 (2022年6月22日現在)
 代表取締役 百谷 淳一
 代表取締役 山田 基
 取締役 唐 東雷
 社外取締役 久保 健
 " 丸野 孝一
 取締役(常勤監査等委員) 高橋 智子
 社外取締役(非常勤監査等委員) 竹内 芳美
 " 安達 健祐
 " 島田 邦雄
 " 山宮 道代

本社・工場 本社 東京都中央区日本橋富沢町12番20号
 長岡工場 新潟県長岡市東蔵王1丁目1番1号

営業拠点 海外事業統括部(東京)
 東日本営業部(埼玉)
 中部営業部(名古屋)
 西日本営業部(大阪)

ツガミグループ 株式会社ツガミ総合サービス
 津上精密機床(中国)有限公司 [英領ケイマン諸島]
 津上精密機床(香港)有限公司 [香港]
 津上精密機床(浙江)有限公司 [中国]
 浙江品川精密機械有限公司 [中国]
 安徽津上精密機床有限公司 [中国]
 TSUGAMI (THAI) CO., LTD. [タイ]
 TSUGAMI EUROPE GmbH [ドイツ]
 TSUGAMI KOREA CO., LTD. [韓国]
 TSUGAMI PRECISION ENGINEERING INDIA PRIVATE LIMITED [インド]
 TSUGAMI Universal Pte. Ltd. [シンガポール]

所有者別株式分布状況



株式メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 期末配当の基準日は、毎年3月31日
 剰余金の配当の基準日は、毎年9月30日
 なお、中間配当を実施するときの中間配当の基準日は、毎年9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711(通話料無料)
 (郵送先)
 郵便番号 137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 公告の方法 電子公告により、当社ホームページ(https://www.tsugami.co.jp/)に掲載いたします。
 なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、官報に掲載して行います。
 上場金融商品取引所 東京証券取引所

お知らせ

- 株主さまのご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取請求、配当金振込指定などを行う場合の受付窓口は、原則として口座を開設されている証券会社等になります。郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金に関するご照会および株式事務に関する一般的なお問合せは、三菱UFJ信託銀行株式会社で承ります。
- 証券会社等の口座ではなく特別口座に記録された株式に関する各種手続きは、三菱UFJ信託銀行株式会社で受付いたします。
- 特別口座に記録された株式を市場で売却する場合は、特別口座から直接売却することができませんので、証券会社等の口座に振替える必要がございます。

株主の皆様へ

第119期報告書 2021年4月1日～2022年3月31日



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第119期の営業概要等につきましてご報告申し上げます。

当期における当社グループを取り巻く環境につきましては、海外市場の不確実性が増しておりますが、中国市場をはじめ各市場とも堅調に推移した結果、売上収益は前期比 51.1%増の 93,174 百万円となりました。機種別の売上収益では、主力の自動旋盤は前期比 53.5%増の 79,504 百万円、研削盤は同 58.5%増の 3,945 百万円、マシニングセンタ・転造盤・専用機は同 32.7%増の 5,435 百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は前期比 97.8%増の 18,860 百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同 92.9%増の 9,486 百万円となりました。

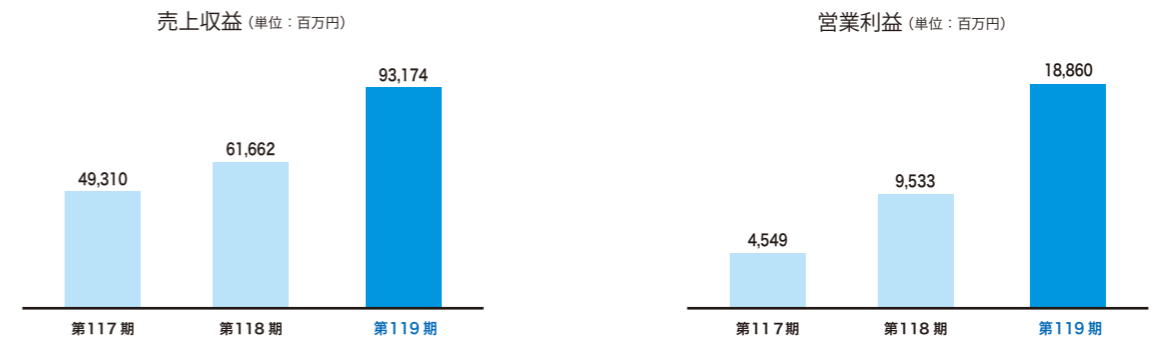
2022年3月期の剰余金の配当につきましては、1株につき中間配当金 18円、期末配当金 22円の年間 40円とさせていただきました。2023年3月期につきましては、1株につき中間配当金 22円、期末配当金 22円の年間 44円とさせていただく予定です。

引き続き売上の拡大と生産の効率化・原価の低減を図るとともに、お客様のニーズに合致した新製品の提供とサービスの充実に努め、常にお客様満足度の向上を目指し、お客様に信頼される経営に全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月
 株式会社ツガミ

連結業績の推移



営業成績および財産の状況の推移

区分	第117期		第118期		第119期	
	連結	個別	連結	個別	連結	個別
売上収益(百万円)	49,310	25,937	61,662	20,367	93,174	35,584
営業利益(百万円)	4,549	401	9,533	109	18,860	2,185
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)	2,001	803	4,917	3,810	9,486	4,287
基本的1株当たり当期利益(円)	38.60	15.50	95.21	73.78	191.99	86.76
資産合計(百万円)	61,860	31,755	79,278	35,275	103,761	38,508
資本合計(百万円)	39,073	19,424	46,836	20,104	57,840	18,358
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	628.14	364.21	751.14	382.78	941.82	368.72

(注) 単位未満を切り捨てて表示しております。

(注) 個別については、売上高、営業利益、当期純利益、1株当たり当期純利益、総資産、純資産、1株当たり純資産を表示しております。

連結財務諸表

◆連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	前期 (2021年3月31日現在)	当期 (2022年3月31日現在)
資産		
流動資産合計	60,023	82,036
現金及び現金同等物	17,207	18,844
営業債権及びその他の債権	20,428	27,614
その他の金融資産	30	30
棚卸資産	20,774	32,618
その他の流動資産	1,582	2,928
非流動資産合計	19,254	21,724
有形固定資産	11,808	14,191
使用権資産	1,302	1,915
無形資産	1,116	903
退職給付に係る資産	91	64
その他の金融資産	4,420	4,130
繰延税金資産	253	308
その他の非流動資産	261	210
資産合計	79,278	103,761
負債及び資本		
負債		
流動負債合計	30,204	42,873
営業債務及びその他の債務	14,797	22,234
借入金	9,579	13,313
その他の金融負債	210	170
未払法人所得税等	1,332	1,390
引当金	384	585
契約負債	3,161	4,421
その他の流動負債	737	757
非流動負債合計	2,237	3,046
その他の金融負債	123	106
退職給付に係る負債	893	924
引当金	-	5
繰延税金負債	887	1,460
その他の非流動負債	333	550
負債合計	32,441	45,920
資本		
資本金	12,345	12,345
資本剰余金	3,332	3,222
自己株式	△ 4,371	△ 2,040
その他の資本の構成要素	2,560	6,256
利益剰余金	24,362	25,795
親会社の所有者に帰属する持分合計	38,229	45,580
非支配持分	8,607	12,260
資本合計	46,836	57,840
負債及び資本合計	79,278	103,761

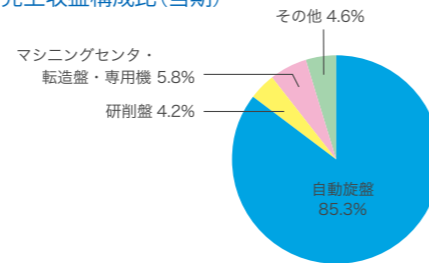
◆連結損益計算書

(単位：百万円)

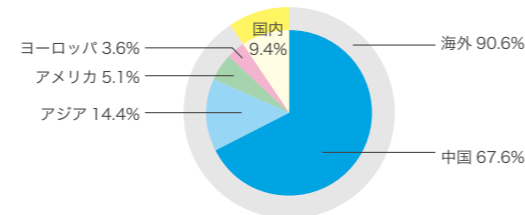
科目	前期 2020年4月1日から 2021年3月31日まで	当期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上収益	61,662	93,174
売上原価	△ 44,457	△ 64,994
売上総利益	17,204	28,179
販売費及び一般管理費	△ 8,297	△ 10,223
その他の収益	670	3,019
その他の費用	△ 44	△ 2,114
営業利益	9,533	18,860
金融収益	339	328
金融費用	△ 413	△ 412
税引前利益	9,459	18,776
法人所得税費用	△ 2,822	△ 6,155
当期利益	6,636	12,620
当期利益の帰属		
親会社の所有者	4,917	9,486
非支配持分	1,718	3,134
当期利益	6,636	12,620
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	95.21	191.99
希薄化後1株当たり当期利益(円)	93.08	188.07

◆売上収益構成比(連結)

機種別売上収益構成比(当期)



地域別売上収益構成比(当期)



◆連結持分変動計算書

当期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分										非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計	合計			
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を連して公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定						
2021年4月1日時点の残高	12,345	3,332	△ 4,371	478	2,081	-	2,560	24,362	38,229	8,607	46,836	
当期利益							-	9,486	9,486	3,134	12,620	
その他の包括利益				3,904	△ 208	△ 26	3,669	3,669	3,669	1,558	5,228	
当期包括利益合計	-	-	-	3,904	△ 208	△ 26	3,669	9,486	13,155	4,693	17,849	
自己株式の取得			△ 4,312				-		△ 4,312		△ 4,312	
自己株式の処分		△ 113	288				-	△ 71	103		103	
自己株式の消却			6,355				-	△ 6,355	-		-	
配当金							-	△ 1,599	△ 1,599	△ 1,039	△ 2,639	
株式報酬取引による増減		3					-		3		3	
利益剰余金への振替						26	26	△ 26	-		-	
所有者との取引額合計	-	△ 109	2,331	-	-	26	26	△ 8,052	△ 5,804	△ 1,039	△ 6,844	
2022年3月31日時点の残高	12,345	3,222	△ 2,040	4,383	1,872	-	6,256	25,795	45,580	12,260	57,840	

機種紹介

◆ターニングセンタ B020M-III

スイス型自動旋盤(主軸移動型)とマシニングセンタの融合による生産型複合加工機
コンパクトなボディに多機能な量産性を凝縮

- 4.75m²のフロアスペースに自動旋盤、マシニングセンタの2台を凝縮し、フロア当たりの生産性を大幅に向上
- 多彩な加工パターンで複雑形状部品を一台で全加工し、生産性を飛躍的に向上
- ツールホルダは、2面拘束ホルダ(CAPT C3)を採用し、高精度で強力な加工が可能
- 3.7kWの高出力ビルトインモータの採用により、低速から最高回転速度25,000min⁻¹までマシニングセンタと同等の高効率なミリング加工が可能
- Y軸付の背面刃物台により、背面複合加工と主軸側とのオーバーラップ加工が可能。加工時間の短縮を実現



◆CNC 精密自動旋盤 B0205-V

ベストセラーのB012/20シリーズがコンパクトな機械サイズを維持したまま高速・高精度加工機能を強化

- 背面主軸には、主軸と同等の3.7kWモータを搭載し、背面加工能力を強化
- 正面刃物台は、より高剛性とした刃物台を搭載し、材質を選ばず安定した加工を実現
- 最高回転速度10,000min⁻¹の前刃物台回転工具(オプション)は、小径穴加工でも高速加工に対応
- コンパクトな機械サイズを維持したまま、ソフト面、ハード面ともに使い勝手を向上
- 製品回収方式の変更により、製品回収時の待ち時間を削減。さらに、送り時間の最適化によりサイクルタイムの短縮を実現(従来機比12%削減)



展示会を開催

◆ツガミテクニカルフェア

2021年11月25日、26日の2日間、ツガミ長岡工場にてツガミテクニカルフェア2021を開催いたしました。国内から大勢のユーザー様、ディーラー様に来場いただき、更に市場を広げるため活発な商談を行いました。

